

次期兵庫県地域創生戦略（2020～2024）策定の基本的考え方

1 基本的考え方

(1) 基本理念

人口が減少しても、地域が活力を持って自立し、将来への希望が持てる兵庫つくる

(2) 戦略目標

- ・ ①地域に活力がなければ人口の定着・環流や自然増は見込めないこと、②若者・女性の定着・環流が喫緊の課題であることから、「地域の元気づくり」と「社会増対策」を自然増対策の前に移動
- ・ GDP などの全県指標では見えない地域の成果等を評価できるよう、「地域の元気づくり」に地域別目標となる「五国の未来づくり」を追加し、地域の強みを活かした取組を推進

【戦略目標（新旧対照）】

【現行戦略】	【次期戦略】
I 自然増対策（子ども子育て対策）	I-1 地域の元気づくり
II 自然増対策（健康長寿対策）	I-2 五国の未来づくり（地域別目標）
III 社会増対策(人口流入増加)	II 社会増対策(人口流入増加)
IV 地域の元気づくり	III 自然増対策(子ども子育て対策、健康長寿対策)

※次期戦略は、「兵庫 2030 年の展望」の実現に向け、2020 年から 2030 年の前半 5 年間に取り組むべき課題に対するプログラムの位置付けとし、リディングプロジェクトは、各対策の取組の方向性に反映

2 2025 年までの戦略目標

I 地域の元気づくり

五国が持つ多様性を生かし、次世代産業から農林水産業まであらゆる産業が活性化し、内外との豊かな交流とが地域活力を生む、次代に誇れるふるさと兵庫をつくる。

次期戦略	現行戦略
定量：国を上回る一人当たり県内総生産の伸びを維持 定性：住んでいる地域にこれからも住みたいと思う人の割合	国を上回る県内総生産の成長率を維持する、県内総所得に占める海外等からの所得の比率を高める

I-2 五国の未来づくり

五国の多様性が育んできた地域資源や強みといったポテンシャルを活用し、時代潮流を見据えた地域の未来づくりを民間企業や市町と共に推進する。

次期戦略	現行戦略
地域別の指標を検討（淡路の例） 定量：地域外からの訪問者の滞在時間の伸び 定性：夜までまちの活気が続いていると思う人の割合	※設定なし

II 社会増対策(人口流入増加)

日本人の社会減は 6,725 人（H30.10.1 現在）と依然 6 千人を超えていることから、2025 年までに日本人社会減ゼロを目指し、若者や女性が志向する雇用の場の拡大、第二新卒者対策を促進するなど、自分らしく働ける兵庫をつくる。

次期戦略	現行戦略
定量：2025 年までに日本人社会減ゼロを目指す 定性：自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思ふ人の割合	5 年間で 25,700 人の流入増加（流出抑制）

Ⅲ 自然増対策

(1) 子ども子育て対策

出生数が減少するなか、結婚したい、子供を産み育てたいとの希望と現実とのギャップを埋め、結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる。

次期戦略	現行戦略
定量：20歳から45歳までの婚姻率の維持 定性：結婚したいと回答した人の割合	5年間で22万人の出生数の実現に向け、毎年44,000人の出生数を維持

(2) 健康長寿対策

人生100年時代を迎えるなか、多くの県民が生涯を通じて、ふるさとで健康でいきいきと暮らせる兵庫をつくる。

次期戦略	現行戦略
定量：平均寿命の伸びを上回る健康寿命の伸び 定性：心身ともに健康であると感じる人の割合	5年間で男女とも1歳の健康寿命の延伸

3 基本目標

- ・基本目標を10から7に集約し、書きぶりを見直し
- ・目標と対策の関係性を分かりやすくするため。事業を絞り込み

【次期戦略】		現行戦略	【現行戦略】	
I	①あらゆる産業が元気な兵庫をつくる	⑥④	I	①多子型の出産・子育てが可能な社会を実現する
	②内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	⑨⑤	II	②健康長寿社会をつくる
	③安全安心で豊かに暮らせる兵庫をつくる	⑧⑩	III	③地域に根ざした産業を振興する
I-2	④地域の特性を活かし地域の未来をつくる	③⑨		④人や企業・資本が流入する兵庫をつくる
II	⑤自分らしく働ける兵庫をつくる	④⑤		⑤個性あふれる「ふるさと兵庫」をつくる
III	⑥結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	①	IV	⑥兵庫の産業競争力を強化する
IV	⑦生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	②⑦		⑦安全安心な健康福祉社会をつくる
				⑧住みたい地域をつくる
				⑨まちの賑わいを創出する
				⑩県土空間の安全・安心を高める

4 次期戦略の特徴

(1) 若者・女性の定着・環流対策の強化（社会増対策の重点化）

- ・兵庫で暮らしたい、働きたいと願う若者や女性の希望を叶えるため、①学生と地元企業とのマッチング、②地域での働く場の確保(雇用の場の拡大、起業・創業の促進)、③UJIターの促進(第二新卒者対策)、④高度外国人材の定着の4つの視点から取組を推進

(2) 結婚の促進

- ・結婚を望む人の願いを叶えるため、①出会いの機会の創出(出会いサポートセンターの充実、民間結婚斡旋企業との連携、企業と連携した取組の推進)、②従業員の結婚を応援する企業の表彰制度、③結婚や子育てへのポジティブな意識の醸成の3つの視点から取組を推進

(3) 地域の強みを活かしたゾーン別プロジェクトの推進（五国の未来づくりの創設）

- ・地域が持つポテンシャルや強みを活かし、他地域や異業種との連携協働により、未来に希望が持てる地域づくりを進めるゾーン別プロジェクトを推進